広聴広報委員会会議記録（概要）

令和８年１０月２１日（水）

開　　会（午前１０時０分）

【議　　事】

〇市議会だよりについて

石本亮三委員長　初めに、市議会だより第220号の原稿確認・校正についてです。16ページありますが、１ページ（表紙）と16ページ（裏表紙）は、関連しているので、一人の委員に割り振りします。それでは、１ページ（表紙）と16ページ（裏表紙）が中委員、２ページ目が松本委員、３ページ目が斉藤委員、４ページ目が神戸委員、５ページ目が福原委員、６ページ目が山口副委員長、７ページ目が私（石本委員長）、８ページ目が長谷川委員、９ページ目が秋田委員、10ページ目が谷口委員、11ページが矢作委員、12ページが中井委員、一巡して、13ページが松本委員、14ページが斉藤委員、15ページが神戸委員となります。

６ページの「議員賛否一覧」、７～11ページの一般質問のページについては、以前の広聴広報委員会で、各会派で事前に最終確認をした上で校正会議に出席していただくということで了承いただいておりますので、修正箇所があれば該当ページの確認の際にお伝えください。また、これ以外でも各会派で関係あるところは事前に見ていただくことでお願いしておりますので、修正箇所があれば該当ページの確認の際にお伝えください。

（１ページから３ページまでは、校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし）

石本亮三委員長　４ページ目に請願第４号の記載があるが、その際に花岡議員が賛成討論をしていたが、議員提出議案第４号を掲載することで、花岡議員の賛成討論を掲載できないのは申し訳ないので、少しでも掲載できればと思うが、いかがでしょうか。あるいは、スペースがなければ第221号に掲載することも考えられると思いますが、いかがでしょうか。

矢作いづみ委員　委員長の提案はありがたいです。可能であれば第220号に掲載したほうがよいと思います。

石本亮三委員長　これについては、第220号で掲載できるように調整しますので、正副委員長に一任ということでよろしいでしょうか。

（委員了承）

（５ページから11ページまでは、校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし）

矢作いづみ委員　縦書きのとき、数字の「１」とアルファベットの「I」の判別が難しい箇所については「１」を漢数字に修正したほうがよいと思います。

（委員了承）

中井めぐみ委員　12ページですが、各グループと議員名の間に「担当議員」と加えたほうがよいのではないでしょうか。

石本亮三委員長　８つのグループ全部に「担当議員」と付け加えることでよろしいでしょうか。

（委員了承）

松本明信委員　13ページですが、保健医療特別委員会が９月11日に独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院に視察しましたので、これについても掲載したほうがよいのではないでしょうか。

石本亮三委員長　通例では、議会レポートはその号の定例会議の集中審議期間外（６月20日から８月31日）に委員会等が活動した内容を掲載しています。次号において、保健医療特別委員会の特集となる可能性があるので、今後行われる視察も含め、次号に掲載するということでいかがでしょうか。

（委員了承）

（14ページ、16ページは、校正を担当した委員から修正箇所等の指摘なし）

〇議場コンサートについて

石本亮三委員長　次に、議場コンサートについてです。

前回の広聴広報委員会で、議場コンサートは入江新一郎さんにお願いすることとしていましたが、先方からの依頼で、夫婦で参加したいとの話がありましたので、入江新一郎さんと入江真奈さんにお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

○その他

石本亮三委員長　前回の広聴広報委員会で議会図書室について、議会や委員会として協議していくテーマであれば、広聴広報委員会で検討する旨の話をしましたが、今後の議会図書の在り方についても、検討していければと考えております。

議会図書室を使用したことがない方は、議会図書室を見ておいていただければと思いますので、よろしくお願いします。

官報や雑誌などはデータ化されてペーパーレス化も進んでいますので、今一度整理する必要があると思います。

いずれにしても、図書の購入の在り方など、図書室関係については各会派で一度話し合ってきていただければと思います。

また、政策研究審議会については、日程が決まりましたら皆様に連絡いたします。１期目の議員は広聴広報委員会の委員以外も都合がつきましたら、傍聴いただければと思います。

私からは以上になりますが、ほかにありますか。

矢作いづみ委員　議会報告会と政策討論会の今後の進め方として、政策研究審議会に当委員会から諮問を予定されているが、若者の参加や市民の参加を増やすことが課題ということは承知しているが、「高校生向け」や「大学生向け」と対象者を限定することなく、広く市民向けの開催を進める中で、若い世代の参加を促していく工夫は今の要綱の中でもできると思っています。年間４回定例会議があることを踏まえて、市民への議会報告会の機会が今以上

に減ることがないように進めるべきと考えているということを発言させていただきます。

中井めぐみ委員

前回の話になりますが、矢作委員から一度持ち帰らせてもらいたいという発言をしましたが、その際に認められなかったことについて、会派としては大変遺憾でありました。

諮問ついては、あのままだと賛成できないというところがあったので、もっと委員会で話し合いたいと思っていました。

10月にも、もう１日話し合いの日程を決めていただいていたのに、持ち帰ってもう一度と言ったところを、受け入れられなかったということに驚愕したのですが、今後はそのような委員会運営ということになっていくのでしょうか。その辺がすごく心配なので、確認させていただきたいと思います。

石本亮三委員長

委員会の運営のことですから、委員長である私に責任があるので発言しますが、基本的に、各委員会は正副委員長がかなり運営を仕切るわけですけれども、私としては今年度に関しては、まず、６月頃に年間スケジュールを出させていただきました。また、意見について会派持ち帰りとし、18日間もの時間を与え、意見がある会派は意見を出してくださいということもお願いしました。このように、それなりに手続を取ってきたつもりです。

このように、スケジュールを出し、各会派からも意見を募り、そして、

	私の会派を含めて４つの会派から意見が提出されました。その後、提出のあった４会派で調整をさせていただいたということです。提出のなかった会派は意見を出してこなかったわけなので、調整する必要はないかなと思いました。そして、意見をいただきました４つの会派から了承いただいたので、このスケジュールで手続を進めることとしました。 　手続の方法は委員長によっては、様々だと思います。ほかの委員会の委員長によっては、決まったことをまたひっくり返して、議論を戻す方もいれば、私のように、ある程度のスケジュールを決めたらそれで進めていくというタイプもおります。
矢作いづみ議員	委員長はそういうふうに進めてこられたということですけれども、10月のときに諮問の文章をまとめるということも委員長はおっしゃっていたわけですから、私どもは持ち帰りたいということを発言いたしましたけれども、私も議員生活は長いですけれども、持ち帰りを認めていただかなかったというのは初めてですので、今後こういうことのないように公平公正に進めていただきたいと思います。
秋田孝委員	委員長は、すごく公平公正に進めていたと思いますので、今更また話を蒸し返すのはやめていただきたいです。
矢作いづ	意見だけは言わせていただきます。

み委員	
石本亮三 委員長	ほかになければ、これで本日の委員会は散会いたします。 次回の委員会は11月24日（火）、12月定例会議１週間前の議会運営委員会終了後となりますのでよろしくお願いします。 以上で散会いたします。 散　　会（午前１０時５１分）

別紙1

広 聴 広 報 委 員 会

令和８年10月21日(水)

開　会　[午前]・午後　１０時　０分
散　会　[午前]・午後　１０時５１分
場　所　第5委員会室

委　員　長	石 本 亮 三	✔
副 委 員 長	山 口 浩 美	✔
委　　員	斉 藤 かおり	✔
〃	神 戸 鉄 郎	✔
〃	中 井 めぐみ	✔
〃	矢 作 いづみ	✔
〃	長谷川 礼 奈	✔
〃	松 本 明 信	✔
〃	谷 口 雅 典	✔
〃	福 原 浩 昭	✔
〃	中　　毅 志	✔
〃	秋 田　　孝	✔

議　長	粕 谷 不二夫	

別 紙 2

●出席表　　【広聴広報委員会】　令和　８年１０月２１日

議会事務局		
部局	職名	氏名
議会事務局	主査	谷口　周
議会事務局	主任	田中　璃沙